

「アレルギー新聞」

R8.1月発行

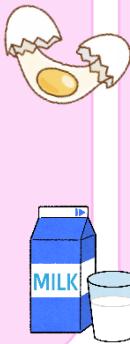
★アナフィラキシーとは？

アナフィラキシーとは、**食べ物・薬・虫刺され**などが原因で、身体の免疫反応が強く出てしまった状態のことをいいます。

本来は身体を守る「アレルギー反応」が全身で過剰に起り、短時間で血圧が下がったり、息苦しくなったり、意識を失つたりすることがあります。

発症してから数分～数十分で急激に進行するため、とても危険で、命に関わることもあります。

★原因（例）



- 食べ物：牛乳、卵、ナッツ、小麦、落花生

- 食べ物：牛乳、卵、ナッツ、小麦、落花生

- 薬：抗生素質、解熱鎮痛薬、造影剤等

- 虫刺され：蜂などに刺されたとき等



★みんなでやめないと



- アレルギー情報を正しく共有しておぐ
- エピペンの有無や使い方を確認しておく
- 緊急時は「慌てず・協力して・すぐ連絡
- 家庭・学校で「もしもの時の動き方」を話し合っておく

★症状

全身	消化器	呼吸器	皮膚・粘膜
顔色が悪い ぐったり 意識もつづつ	腹痛 吐き気 嘔吐	咳	のどの違和感 声枯れ 息苦しさ かゆみ 顔や唇の腫れ

- エピペンを持っている場合は、**すぐに太ももの外側へ注射しましょう**
(服の上からでも良い)
- 1～2の番通報し「アナフィラキシーの可能性がある」と救急隊員へ伝えましょう。
- 倒れた場合は、**仰向け**に寝かせましょう。息苦しさやぐったりして、いたり嘔吐がある場合は、楽な体位にする、足を高くしてあげましょう。
- ※突然立ち上がったり、座つたりすると数秒で急変することがあるので注意が必要！
- 救急隊員がくねまくねばを離れず見守りましょう
- 救急隊員がきたら症状を報告しましょう

★アナフィラキシーを起こしたら



2026年2月に医師による「アレルギー」看護師による「スキンケア」についての講演会を予定しています！ 詳細は当院のホームページやインスタグラムに投稿いたします。この機会にのぞいてみてください。

